

YAMAHA PortaSound

PSS-280

取扱説明書 保証書

ポータサウンド PSS-280 をお買い上げいただき ありがとうございます。

このガイドブックは、PSS-280の操作方法を機能別に説明したものです。お読みになった後も、保証書と共に大切に保管して、わからないことがあるときに、ご活用ください。

もくじ

	ページ
電源のセット方法	1
ポータサウンド早わかり	2
ボイス	4
スタイル～オートアカンパニメント	6
コードメモリー	10
レッツプレイ	11
故障と誤りやすい現象	12
仕様	13

取扱上の注意



こんな場所に置かないでください。

- 暖房器具のそばや日中の車内、直射日光が当たる場所など、極端に温度が高い場所には置かないでください。また、湿度が高い場所やホコリの多い場所も避けてください。



ラジオやテレビから離してお使いください。

- ラジオやテレビなどのすぐ近くでご使用になると、ラジオやテレビ側で雑音を発することがあります。十分に離してお使いください。



衝撃を与えないでください。

- 本体を落としたり、重いものを乗せたりしないでください。
- ボタンやスイッチ類に、無理な力を加えないでください。



使用後は

- 必ずパワースイッチを切ってください。
- 長時間使わないときは、電池を抜いておいてください。



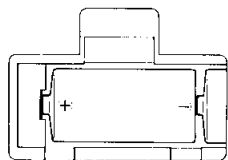
お手入れは

- 柔らかい布で、から拭きをしてください。
- 汚れがひどいときには、少し水で湿らせた布で拭いてください。
- アルコールやシンナー類は、本体の外装を痛めますので、絶対に使わないでください。
- 塩ビ系のものを長時間置いておくと、張り付いてしまうことがありますのでご注意ください。

電源のセット方法

1, 電池を使う場合

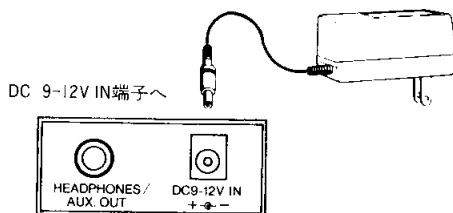
本体を裏返して、電池ケースのフタをあけます。付属の単2乾電池6本を一列に入れます。このとき、+-の方向を間違えないようにしましょう。



※電池に寿命がきて電圧が落ちると、大きな音を出したときに音が歪んだり、音が止まったりします。そのような時は6本共新しい電池と交換してください。

2, コンセントを使う場合

別売の電源アダプター(PA-3)が必要です。PSS-280本体の背面にあるDC 9-12V IN端子に電源アダプターのプラグを差し込んでください。

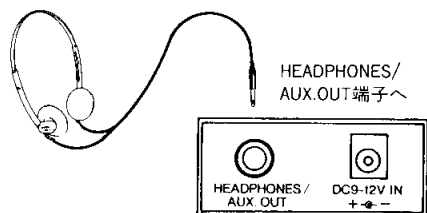


※必ず指定の電源アダプターをご利用ください。

■ 付属端子

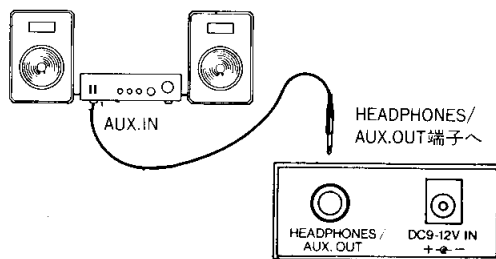
●ヘッドホンを使う時は

ヘッドホンは<HEADPHONES/AUX.OUT>端子に接続してください。ヘッドホンジャックを差し込むと、内蔵スピーカーからは音が流れませんので、夜間の練習などに最適です。



●キーボードアンプやステレオへのつなぎ方

オーディオ接続コードで<HEADPHONES/AUX.OUT>から、つなぐ側の<LINE IN><AUX.IN>等に接続してください。



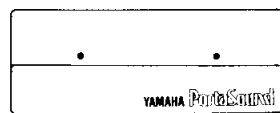
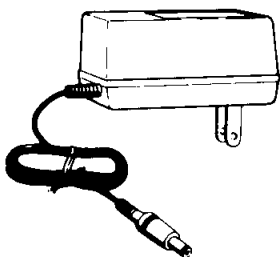
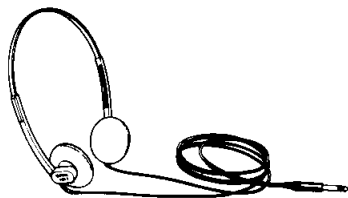
■ オプション(別売)のご紹介

●ヘッドホン

HPE-5 ¥5,500
HPE-3 ¥3,000

●電源アダプター PA-3 ¥2,000

●専用ソフトケース SCC-23 ¥2,800



●表示の価格には消費税は含まれていません。

ポータサウンド早わかり

ポータサウンドのアウトラインをご紹介します。
詳しい操作については、() のページをご覧ください。

パワー/モードレバー

《ノーマル》

自動伴奏なし、またはリズムだけの伴奏で演奏ができます。

《シングルフィンガー》

コード伴奏が苦手という人も、指一本で自動伴奏を加えることができます。

《フィンガード》

左手でコードを押さえると、そのコードに従って自動伴奏が出てきます。

《オートベース》

ベース音の自動伴奏。左手の演奏はそのまま発音しますので、自分でコード伴奏が加えられます。

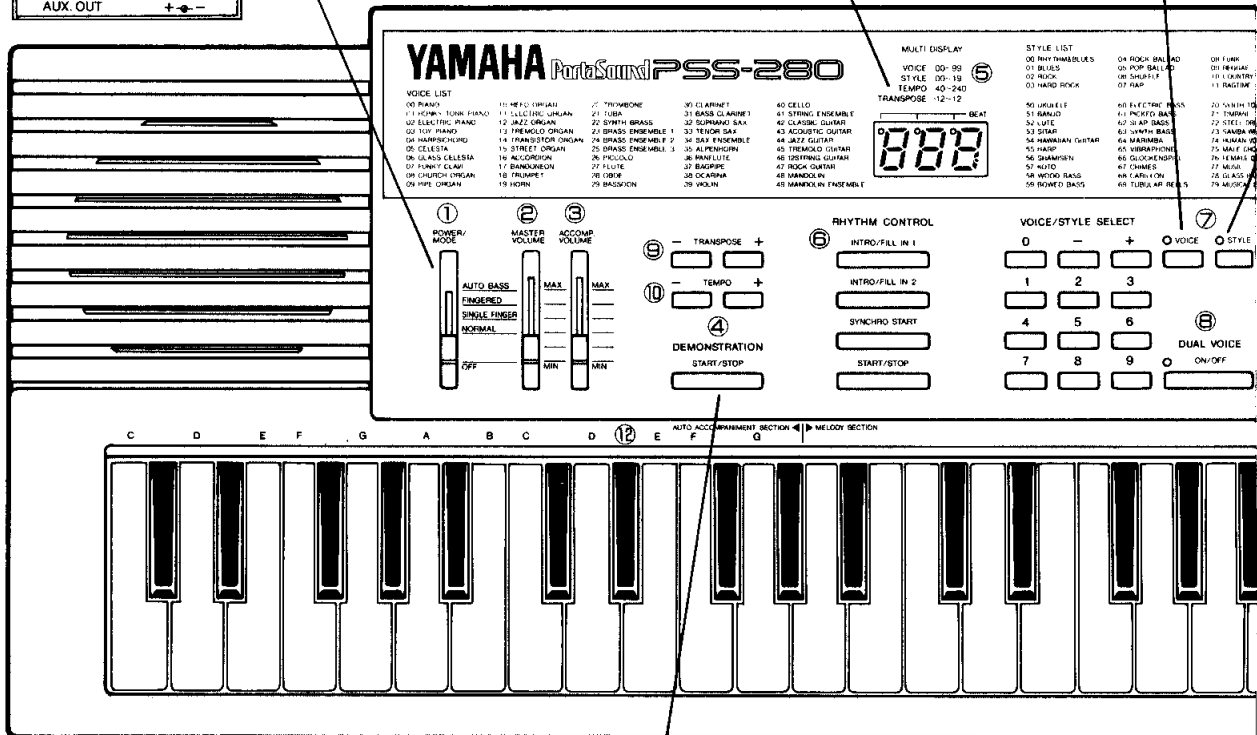
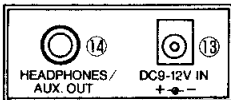
(詳しくは→7ページ)

ボイス(100音色)

- ①ボイス/スタイルセレクトのボイスボタンをON。
- ②マルチディスプレイの向側のボイスリストから、音色を選びます。
- ③音色のボイス NO は、〈0〉〜〈9〉のボタンで2桁の指定をします。はじめに10の位、つぎに1の位の順番で指定してください。(詳しくは→4ページ)

マルチディスプレイ

見やすいデジタル表示のLEDディスプレイを搭載。ボイス、スタイル、テンポ、トランスポーズの値、ビート表示を確認することができます。

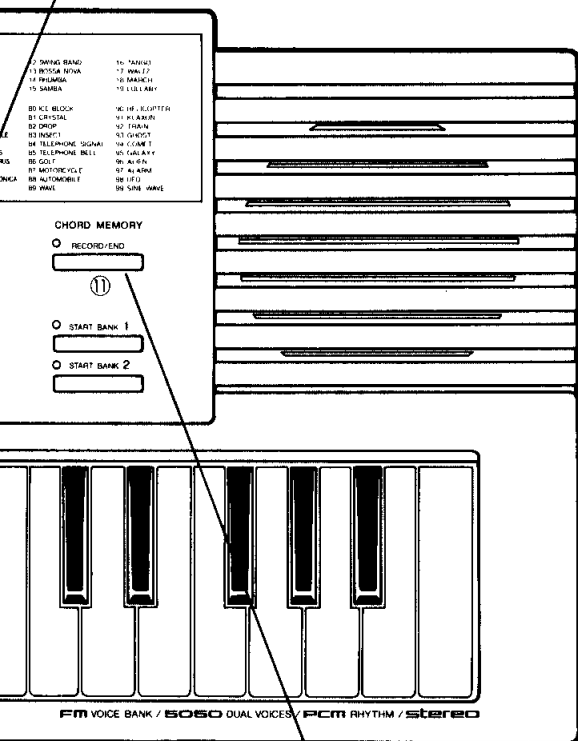


デモンストレーション

このボタンをONにすると、プリセットされている曲のデモンストレーション演奏がスタートします。止めたい時には、このボタンをもう一度押してください。

スタイル(20スタイル)

- ①ボイス/スタイルセレクトのスタイルボタンをON。
- ②スタイルリストから、スタイルを選びます。
- ③リズムのスタイルNoは[0]～[9]のボタンで2桁の指定をします。指定方法は、ボイスの時と同じです。
- ④リズムコントロールのスタート/ストップボタンをONにするとリズムが鳴りだします。もう一度押すとリズムは止まります。(詳しくは→6ページ)



コードメモリー

コードメモリー機能を活用すれば、コード進行を記録することができます。(詳しくは→10ページ)

ボタン、レバーの名称と機能

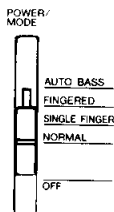
- ①パワー/モード
電源を入れ、モードを選ぶスイッチです。
- ②マスターボリューム
全体の音量を調節するレバーです。
- ③アカンパボリューム
オートアカンパニメント(自動伴奏)の音量を調節するレバーです。
- ④デモンストレーション
内蔵のデモ演奏を開始/停止させるときに押すボタンです。
- ⑤マルチディスプレイ
ボイス、スタイル、テンポ、ビート、トランスポーズのデジタル表示と、ビート表示をするディスプレイです。
- ⑥リズムコントロール
リズムや自動伴奏をスタート、ストップさせたり、リズムに変化をつけたりする時に用いるボタンです。
- ⑦ボイス/スタイルセレクト
音色の種類、スタイルの種類を選ぶときに押すボタンです。
- ⑧デュアルボイス
2つの音色を重ねて発音させ、音に厚みをつけたい時に押すボタンです。
- ⑨トランスポーズ
移調して演奏したいときに押すボタンです。
- ⑩テンポ
リズムのテンポを調節するときに押すボタンです。
- ⑪コードメモリー
コード伴奏を録音、再生するボタンです。
- ⑫オートアカンパニメント用鍵盤
自動伴奏をする時、左手でコードを押さえるのに使われる鍵盤セクションです。
ノーマルモードの時は、普通の鍵盤となります。
- ⑬DC 9-12V IN 端子
電源アダプターを接続する端子です。
- ⑭HEADPHONES / AUX.OUT 端子
本体の音を出力する端子で、ヘッドホンやステレオアンプ、キーボードアンプと接続できます。

ボイス

選べるボイス(音色)は100種類。まず、いろいろな音色に切り替えて音を出してみましょう。

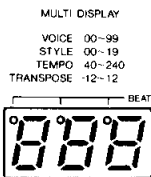
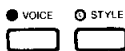
①パワー/モードレバーをノーマルに合わせます。

OFFの位置では電源が切れ、その他の位置(モード)では電源が入ります。



②ボイスボタンをON。

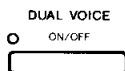
マルチディスプレイの3桁LEDに、現在のボイスNo.が表示されます。



③デュアルボイスをOFFにします。

パワー/モードレバーをONにすると一度に2音色が出るデュアルボイスも自動的にONになり、No.00のピアノの音が、2つ重なって出ます。

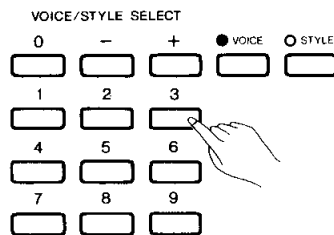
2音色ではなく1音色だけをセレクトして音を出したいときは、デュアルボイスをOFFにします。



④ボイスリストから音色を選びます。

選びたいボイスの番号を、ボイス/スタイルセレクトのテンキー0~9、+、-ボタンで指定します。

たとえばボイスNo.03のトイピアノの場合、<0>のボタンの次に<3>のボタンを押します。マルチディスプレイに指定したボイスナンバーが表示されます。

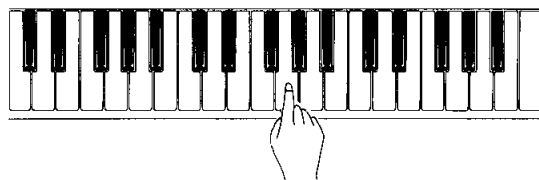


★[+]ボタンは一つ大きい番号の音色を、[-]ボタンは、一つ小さい番号の音色を呼び出します。それらのボタンを押さえたまにしておくと、離すまでの間、数字が自動的に変わってゆきます。

⑤音色を切り替えて弾いてみましょう。

鍵盤を押さえると、④で選んだ音が鳴りだします。

他の音色に切り替えたい時は、④の操作を繰り返してください。



●ボイスは8音(音色によっては4音)まで同時に発音させることができます。ただし、発音数は自動伴奏の時やコードメモリの再生の時にはその半分となります。さらに、デュアルボイスがONの時は、そのまた半分の発音数となります。

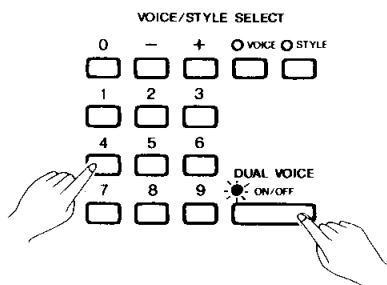
デュアルボイス

2つの音色を重ねて発音させ、音に厚みをつけたい時には、このボタンをONにします。

重ね合わされる2つの音色の内の片方は、今選ばれているボイスとなります。もう一方は次の方法で切り替えることができます。

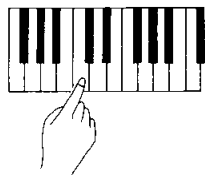
①デュアルボイスのボタンを押したまま(ランプ点灯)重ねたい音色のボイス NO. をテンキーで指定します。

このボタンを押している間は、重ねる音色の方の番号がマルチディスプレイに表示されます。



②鍵盤を押すと2つの音色が一緒に出ます。

ボイスバンクの中から選んだ2つの音色が重なって出ます。



MEMO

●電源ONの直後は、自動的にNo.00のピアノの音色が2つ重なったデュアルボイスになります。

●デュアルボイスをONにすると、発音数はデュアルボイスOFF時の半分になります。

トランスポーズ

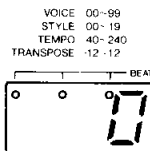
トランスポーズ機能を使うことにより、押した鍵盤と実際に発音される音の発音ピッチを変えることができます。



こんな時に便利!

- 鍵盤の最低音より低い音や、最高音より高い音が必要な時。
- 他の楽器と合わせたり歌の伴奏をする時、弾き方を変えなくても移調できます。

①トランスポーズボタンを1回押す(+、-どちらでも良い) と、3桁LEDディスプレイに現在のトランスポーズのパラメーター値が表示されます。(最初は[0]に設定されています。) 少し時間がたつと、ボイス/スタイルの表示に戻ります。



②トランスポーズの値が表示されている間に、+、-ボタンを押して変更します。変更できる範囲は、[0]を基準として、[-12]~[12]です。(つまり、-1オクターブ~+1オクターブ。)たとえば、パラメーター値を[3]にして、ハ長調の曲を弾くと、3半音高い音が出て変ホ長調に移調されます。

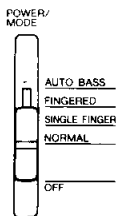


③+-を同時に押すと、初期値の[0]に戻ります。また、+または-を押さえたままにしておくと、離すまでの間、数字が自動的にかわってゆきます。[12]および[-12]のときオートアカンパニメント音は、元の高さに戻ります。

スタイル

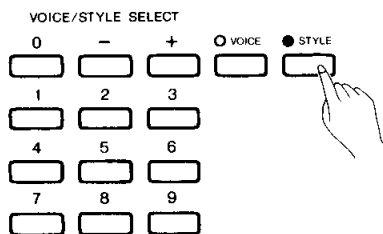
曲に合わせて選べるスタイルは20種類。まず、いろいろなスタイルのリズム演奏を聞いてみましょう。

①パワー／モードレバーをノーマルに合わせます。



②スタイルボタンをON。

ボイス／スタイルセレクトのスタイルボタンをONにします。



③スタイルを選びます。

ボイス／スタイルセレクトの[0]～[9]ボタンで指定します。たとえばNo15のサンバの場合、最初に10の位の[1]のボタンを押し、次に1の位の[5]のボタンを押します。

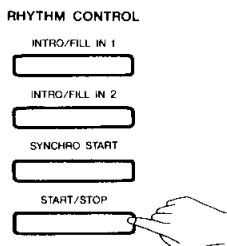
★[+]のボタンはひとつ大きい番号のスタイル、[-]のボタンはひとつ小さい番号のスタイルを呼び出します。

★スタイルは00～19の20種類なので、10の位は[0]または[1]しか入力できません。

④リズムをスタート。

リズムコントロールのスタート／ストップボタンをON。

③で選んだスタイルでドラム音が鳴りだします。ビートに合わせて演奏してみましょう。



⑤他のスタイルに切り替えたい時。

③の操作を繰り返してください。次の小節の頭から新しいスタイルに切り替わります。

⑥リズムを止める時。

スタート／ストップボタンを再度押します。

テンポ

弾く曲に合わせてリズムのテンポを変えてみましょう。テンポはリズムがスタートしているときだけでなく、止まっているときにも変更することができます。

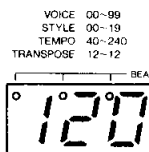
①テンポボタンを1回押します。(＋、－どちらでも良い)

ディスプレイに表示される数字が、現在のテンポ(♩ = 1の値)です。しばらくするとボイス／スタイル表示に戻ります。



②もう一度、－・＋ボタンを押してテンポを調節します。

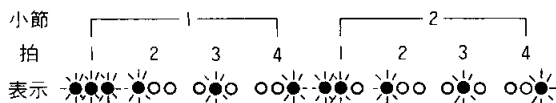
テンポが表示されている間に操作を行ってください。



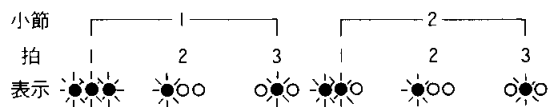
★リズム点灯パターン

ディスプレイ内の3つのドットはリズムに合わせて下図のように点灯します。

(4拍子)



(3拍子)



MEMO

●テンポの速さは、♩ = 40 ～ 240 の範囲で調節できます。

●[+]と[-]ボタンを同時に押すと、設定値は、♩ = 120 にセットされます。

オートアカンパニメント(自動伴奏機能)

パワー／モードレバーのシングルフィンガー、フィンガード、オートベースの3つが自動伴奏機能のモードです。自動伴奏のモードでは、オートアカンパニメント用鍵盤を用いて伴奏のコード進行を指示するだけで、ポータサウンドが自動的に伴奏してくれます。残りの鍵盤を使ってメロディを演奏してください。



オートアカンパニメント用鍵盤

スイッチがノーマルの位置になっていると自動伴奏は行われません。まず、モードを選んでから演奏をはじめましょう。

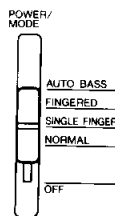
- コードを押さえることができなくても指一本でコードとベース伴奏ができる……………シングルフィンガー
- 普通にコードを押さえてコードとベースの自動伴奏ができる……………フィンガード
- ベース音のみが自動的に加わる……………オートベース

シングルフィンガー 指一本で自動伴奏

コードを全部押さなくても簡単に自動伴奏をさせることがで

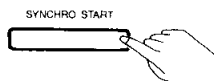
きる機能です。例えば、メジャーコードなら指一本、その他のコードでも2、3鍵押さえるだけでOKです。

- ①パワー／モードレバーをシングルフィンガーに合わせます。

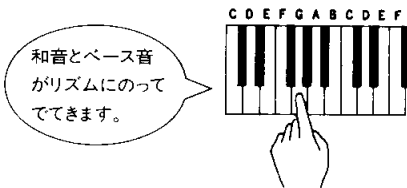


- ②スタイルを選びます。(6ページ参照)

- ③シンクロスタートボタンをON。



- ④オートアカンパニメント用鍵盤のキーを押すと、自動伴奏が始まります。



- ⑤演奏を終了するとき、スタート/ストップボタンを押します。

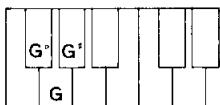
シングルフィンガーコードについて

次の図は、オートアカンパニメント用鍵盤を押す位置と、でてくる和音の関係を示したものです。



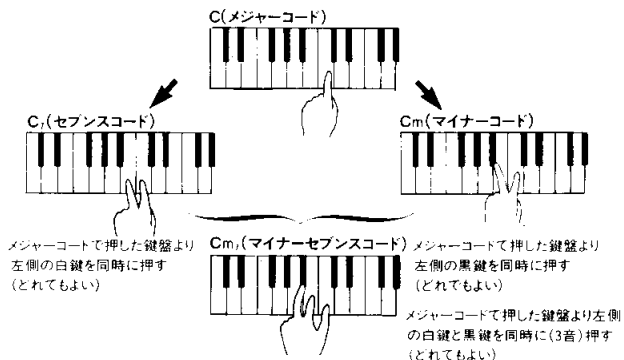
＃、♭のついているコードの出し方

＃がついていたら、上の図で説明した位置の右上の黒鍵、♭がついていたら左上の黒鍵を押せば、＃、♭のついたコードがでせます。



セブンスコード、マイナーコードの出し方

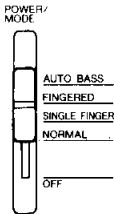
アルファベット1文字のコード(C、Dなど)をメジャーコードといいますが、伴奏はメジャーコードだけとは限りません。例えば(G7)のようなセブンスコード、(Am)のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、下図のように、2つの鍵盤を同時に押すことで出すことができます。



フィンガード コードをおさえて自動伴奏

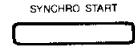
普通にコードを押さえて自動伴奏をさせる機能です。コード演奏になれている人や、シングルフィンガーだけでは演奏できない曲に向いています。

①パワー/モードレバーをフィンガードに合わせます。



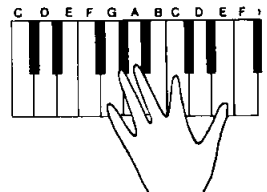
②スタイルを選びます。

③シンクロスタートボタンをON。



④オートアカンパニメント用鍵盤でコードを弾くと、自動伴奏が始まります。

和音とベース音がリズムに合わせてできます。



⑤演奏を終了するときは、スタート/ストップボタンを押します。

フィンガードコードについて

(例) Cコードの場合

() 内の音を弾かずに省略しても検出されます。

メジャーコード C	マイナーコード C _m	セブンスコード C ₇	マイナーセブンスコード C _{m7}
メジャーセブンスコード C _{M7}	マイナーセブンスフラットテッドフィフスコード C _{m7-5}	セブンスサスフォーコード C _{7sus4}	オーギュメントコード C _{aug}
ディミニッシュコード C _{dim}	マイナーメジャーセブンスコード C _{mM7}	シックスコード C ₆	マイナーシックスコード C _{m6}
セブンスフラットテッドフィフスコード C ₇₋₅	CオンD C/D	CオンB ₇ C/B ₇	CオンE C/E

フィンガードモード時に検出可能な自動伴奏機能のコードの種類は、Cコードを例にとりて示すと左図の通りです。オートアカンパニメント鍵域内であれば、各音程のオクターブ上下は問いません。

■左図の★印以外のコードは、どのような転回形で弾いても構成音が同じであればコードの根音が決定されます。しかし★印のついたコードの場合は転回形によってコードの根音が変わります。下の注意をお読みください。

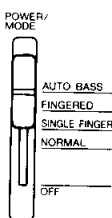
- dim と aug は、押鍵の最低音を根音として検出します。
- 6 と m 7 はコードを構成する音程が共通のため、押鍵の最低音が 6 th の根音になっている場合は、これを 6 コードとみなし、その他の押鍵はすべて m 7 として検出します。
- m 7-5 と m 6 はコードを構成する音程が共通のため、押鍵の最低音が m 6 の根音になっている場合は、これを m 6 コードとみなし、その他の押鍵はすべて m 7-5 として検出します。
- 7-5 は押鍵の最低音を根音または、短 7 度の音として検出します。
- 7 と C/B₇ は、コード音を構成する音程が共通のため、押鍵の最低音が 7 のときのみ C / B₇ とし、それ以外を 7 として検出します。
- C/E は 4 音以上の押鍵数のときに検出し、それ以外は、メジャーコードとして検出されます。

●コードとして検出できない押鍵では自動伴奏は変化しません。ただし、シンクロスタートを押した後、コードとして検出できない押鍵をすると、リズムだけスタートします。

オートベース ベース音の自動伴奏

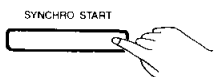
ベース音だけ自動伴奏させて、コードを自由に弾くことができる機能です。

- ①パワー/モードレバーをオートベースに合わせます。



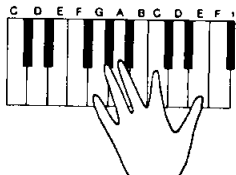
- ②スタイルを選びます。

- ③シンクロスタートボタンをON。



- ④オートアカンパニメント用鍵盤でコードを弾くと、自動伴奏が始まります。

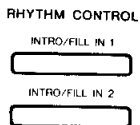
コードをおさえるとベースの自動伴奏もリズムに合わせてできます。



- ★コードの押え方はフィンガードと同じです。
- ★コード音は後から押さえた音が優先で、3音まで出ます。
- ★コードが押さえられるたびにベースのパターンはそのコードに合わせて変わります。コード以外の押え方(2音以下の押鍵のメロディーなど)ではベースパターンは変わりませんので、左手も自由に演奏できます。

- ⑤演奏を終了するときには、スタート/ストップボタンを押します。

イントロ/フィルイン



[イントロ]

リズムが止まっている状態で、イントロ/フィルインボタン1, 2のどちらかを押し、1小節のドラムのイントロを頭にリズムがスタートします。

自動伴奏モードの時は、イントロ/フィルインのボタンを押してからコードを押さえれば、1小節分のドラムのイントロの後、ベースとコードの伴奏がはじまります。

[フィルイン]

リズムや自動伴奏をスタートさせた後で、イントロ/フィルイン1, 2のどちらかを押し、それぞれ異なる変則的なリズムのパターンが、その小節の終わりまで入ります。(リズムにオカズを入れる、という操作です。)



- フィルインボタンを1小節以上押し続けると、その間フィルインのパターンが繰り返されます。

シンクロスタート

鍵盤を弾くのと同時にリズムをスタートさせることができます。

SYNCHRO START



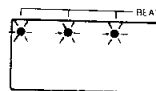
- ①スタイルを選びます。

- ②シンクロスタンバイにします。

シンクロスタートボタンをON。

ビートのドットが3つ同時に点滅して、シンクロスタンバイの状態になります。

点滅→スタンバイOK



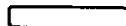
- ③リズムをスタート。

ノーマルモードの時は全鍵盤を、オートアカンパニメントの時はG#2から下の鍵盤を押鍵すると同時に、リズムがスタートします。



ノーマルモード
オートアカンパニメント

SYNCHRO START



★シンクロスタンバイを解除したい時は、リズムスタートする前にもう一度シンクロスタートボタンを押してください。

アカンパボリューム

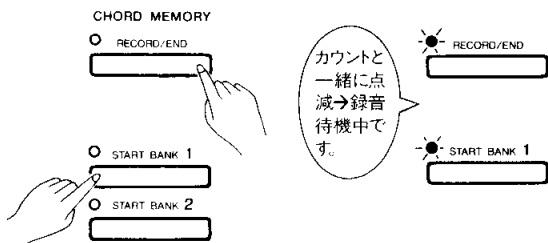
自動伴奏(リズムを含む)の音量を調節します。MAXからMINまで6段階のスイッチになっています。

コードメモリー

めんどろなコード進行をあらかじめ全てメモリーしておき、自動的に再生させる機能です。コードメモリーをバックに、両手を使ってソロ演奏ができます。メモリーバンクは2つあります。

メモリー方法

- ①レコード/エンドボタンを押しながら、スタートバンクボタンまたは2のボタンを押します。(ランプが点滅してカウントが鳴り、レコーディングの待機状態となります。)



★レコーディングの待機状態を解除したい時はレコード/エンドボタンか、シンクロスタートボタンを押してください。

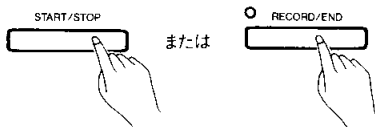
- ②アカンパニメント鍵盤の鍵盤を押すと、レコーディングを開始します。

★レコーディングの時のコードの押え方は、自動伴奏の時と同じで、パワー/モードスイッチの指定によります。ただし、モードがノーマルの場合も、フィンガードモードで入力できるようにになっています。

★メモリーが開始されると、以前そのバンクにメモリーされていたデータは全て消去されます。データをそのままにした場合は、別のバンクボタンでメモリーしてください。

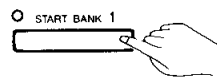
★スタート/ストップボタンを押してレコーディングを開始することもできます。この場合は、コード押鍵が始まるまでの間は、コードやベースの伴奏は無し(ドラムのみ伴奏)として記録されます。

- ③メモリーを終了する時は、スタート/ストップボタンまたはレコード/エンドボタンをON。



再生方法

- ①先にレコーディングしたスタートボタンをON。すぐに再生が始まります。



- ②コードメモリーの伴奏に合わせて演奏をお楽しみください。音色の切り替えやフィルインも可能です。

★コードメモリーの再生は、終りまでくると自動的に頭へ戻り、いつまでも繰り返します。(最後の1小節は、スタートバンクスイッチのランプが点滅します。)

★再生中に、一方のスタートバンクスイッチを押すと、次の小節から、そのバンクに記録されたコード進行が再生されます。

★再生中にもう一度スタートバンクスイッチを押すと、次の小節から、そのバンクに記録されたコード進行の最初に戻って再生されます。

★再生時には、他のスタイルに切り替えることもできます。また、アンプボリュームのレバーも有効です。

- ③再生を終了する時は、スタート/ストップボタンまたはレコード/エンドボタンをON。

バンクボタンの応用

■バンク1, 2の切り替え再生

- ①長い曲のコードをメモリーする場合、コード進行を2つのパターンに分割し、バンク1, 2にそれぞれメモリーしておきます。
- ②曲の進行に合わせてバンクボタンを切り替えながら演奏してゆきます。

■バンク内蔵のコードパターン

スタートバンクボタン1, 2には、あらかじめ右図のコードパターンの自動伴奏がプリセット(内蔵)されています。一度コード進行をメモリーすると、これらのパターンは失われてしまいますが、イントロ/フィルイン1ボタンとスタート/ストップボタンを同時に押しながら電源を入れることによって、再び呼び出すことも可能です。

○ START BANK 1 START BANK 1	C7 F7 C7 C7 F7 F7 C7 C7 G7 F7 C7 G7
○ START BANK 2 START BANK 2	C C Am Am Dm7 Dm7 G7 G7



●メモリーされたデータは、電源をOFFにしても保存されます。ただし、ACアダプターを接続しない状態で電池を抜いて放置しておく(電池交換のように5分程度なら大丈夫ですが)全てのコードメモリーが消えてしまいます。

レッツプレイ

MODE=SINGLE FINGER
 VOICE=NO.24 (BRASS ENSEMBLE 2)
 STYLE=NO.03 (HARD ROCK)
 TEMPO ♩=132

パラダイス銀河

作詞 飛鳥 涼
 作曲

♪ **A** C Em Am

よ う こ そ こ こ へ - あ そ ぼ う - よ バ ラ ダイス
 は み え ない - しゃ か り - き コ ロ ン プス
 ん い か が - は しゃ ご う - よ バ ラ ダイス

Em F 1.Em Dm G7

- む ね の - り ん ご - む い て - お と な
 - ゆ め の - し ま ま - ひ ら き - お と な
 - こ こ ろ - の か さ - ひ ら き - お と な

2.Em Am Dm G7 to C F B^b C F B^b

- で は - さ が せ - ない -
 - で は - さ が せ - ない

B C Em F

そ ら を ほ し が る こ ど も た ち - さ み し そ
 し ぼ ん だ ま ま の ふ う せ ん じゃ - う み の ひ

F Fm Am D7 Dm

- う だ ね そ の ひ と み - Ah つ い て お - い で -
 - ろ さ を は か れ ない - Ah ま し て ゆ - め は -

1.G7 2.G7 C C Am G

と ば せ ない - ス - ツ ケ - ス - の

C Am G C D7

な か に - あ い の こ と ば - を か けて - い れ て - い こ

G G7

う - - - こ き げ D.S.

⊕ Coda C

C Em Am Dm B^b Fm D7 G

©1988 by ジャニーズ出版
 日本音楽著作権協会 (出) 許諾第8872386-801号

故障と誤りやすい現象

※本機は、電源が切れると、演奏中の音は消音され、演奏は終了します。

現象	原因	解決方法
パワースイッチを ON にしたときや OFF にしたときに、ポツンと音が出る。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
マルチディスプレイが暗い。	①電池がなくなりかかっているため。 ②音量が大きいとき、一時的に電圧が下がるため。	①すべて新しい電池と交換してください。 ②ご心配いりません。
スピーカーから音が出ない。	ボリュームが下がっているため。	ボリュームを上げてください。
	HEADPHONES/AUX.OUT 端子にプラグを差し込んでいるため。	プラグを抜いてください。
複数の鍵盤を同時に押した時に、発音されない音がある。	最大同時発音数が単動伴奏音、メモリー再生音も含めて8音(2系列音の場合は4音)のため。	ご心配いりません。8音を超える押鍵があった場合、後着優先発音となります。
音色またはリズムが切り替わらない。	ボイスボタンまたはスタイルボタンを押していないため。	4 ページおよび 6 ページの説明をお読みください。
リズム音が出ない。	リズムコントロールのスタートボタンかイントロボタンが押されていないため。	6 ページの説明を読んで、操作もれがないかどうかを確認してください。
	シンクロスタートスイッチを押した後、自動伴奏用鍵盤を押していない。	
自動伴奏(オートアカンパニメント)が出ない。	①ノーマルモードになっているため。 ②自動伴奏用の鍵盤を押さえていない。 ③フィンガードコードのモードでシングルフィンガーのコードを押さえている。	①希望するモードに切り替えてください。 ②自動伴奏用の鍵盤を押さえてください。 ③シングルフィンガーとフィンガードでは押さえ方が違います。
オートアカンパニメントで伴奏しているとき、指を変えてもコードの音が変わらない。	オートアカンパニメント用鍵盤からいったん指を離さずに弾いているため。	コードを変える時は、一度鍵盤から指を離すようにしてください。
コードメモリーの録音中、急にリズムが止まってしまった。	メモリーの容量を越えたため、録音がストップした。	1 つのバンクに入るメモリーの容量は、最大40コードです。演奏を短縮するか、他のバンクに分けて録音して下さい。

アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1か年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。(日本国内のみ有効)
- 保証期間の1か年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か下記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項を一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けて点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めて社にご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないで済みます。)

YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

北海道電音サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL.011-513-5036
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.022-236 0249
東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044-434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F TEL.025-243 4321
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ樹宮竹工場内 TEL.0534-65-6711
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ樹名古屋流通センター3F TEL.052-652-2230
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL.06-877-5262
京都電音サービスステーション	〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル3F TEL.075-361-6470
神戸電音サービスステーション	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ樹神戸店内 TEL.078-321-1195
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ樹高松店内 TEL.0878-22-3045
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL.082-874-3787
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
(本社) 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL.0534-65-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

北海道支店 LM営業課	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター TEL.011-512-6113
仙台支店 LM営業課	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL.022-222-6140
東京支店 特販営業課	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 ハールビル TEL.03-572-3130
名古屋支店 LM営業課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052-201-5150
大阪支店 特販営業課	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋フラザビル東館 TEL.06-252-7491
広島支店 LM営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082-244-3749
九州支店 LM営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2130
本社 電子楽器事業部	〒430 浜松市中沢町1-1
ポータブル営業課	TEL.0534-60-3271

YAMAHA feelin' club



T4960693042120

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION
ヤマハ株式会社